



Chitose Institute of Science and Technology

千歳科学技術大学報

発行/学校法人千歳科学技術大学企画総務課 千歳市美々758番地65 TEL.0123-27-6001 ■ホームページ www.chitose.ac.jp ■モバイル <http://go.chitose.ac.jp>



アクティブラーニング環境を整備しました

本学は、アクティブラーニングの実施環境を整えるべく、文部科学省平成26年度私立大学等教育研究活性化設備整備費補助金を活用して、パソコン、プロジェクター、可動式の机や椅子、ホワイトボード等の設備を整備しました。この事業により、本学が重視する学生自らが手を動かして学ぶ環境、少人数のグループによる成果発表場所の提供、他者への説明や互いのディスカッションを通じた問題解決及び課題発見能力の向上を促進させる環境が整い、授業での利用や自主学習での積極的な利用を通じて社会が必要とする人材の育成を行います。

本事業により、整備した場所は次のとおりです。

- ・本部棟 1階 多目的ホール
- ・本部棟 2階 図書館閲覧室
- ・10周年記念棟 1階 学生ホール
- ・研究実験棟 1階 アトリウム

*アクティブラーニングとは、教員が講義形式で一方向的に教えるのではなく、学生が主体性を持ち互いに協力しながら学ぶ学習方法です。

学長からのメッセージ

北海道唯一の理工学部がスタートしました

本学は平成10年に「光サイエンス」を基本とし、科学技術を幅広く学ぶ理工系大学として開学し、これまで多様な産業界で活躍する人材を社会に送り出してきました。

この20年ほどの間に光科学の発展は我々の予想を遥かに超えて進み、現在は先端分野だけではなく、広く産業技術の裾野にまで広がりを見せています。本学では最先端のナノテクから情報システム・サービスまでの幅広い分野を教育・研究のフィールドとしていますが、それらを「光科学」で表現するには広がりが見えにくい、と言うのも事実です。

これらの背景から、第34号の学報においてご報告した「サイエンスをベースに実用技術まで一体での教育を実践し、真の理工融合を目指す」と言う開学時の原点に立ち返り、建学精神「人知還流」の始点となる、すぐれた人材や研究成果を社会に輩出しようと学内が一致したことから、その考えの基に学部名称を「理工学部」に変更予定である事をお知らせしました。

予定通り今年度から、基礎から実用技術まで理学と工学が横断的に融合した学びで、総合的・複眼的な思考力と柔軟な発想力を備えた人材を育成する、北海道唯一の理工学部がスタートしました。学科はバイオ・マテリアル学科及び光システム学科から名称変更した応用化学生物学科・電子光工学科とグローバルシステムデザイン学科の構成で発足しました。グローバルシステムデザイン学科については、平成28年度からは、より情報系を充実させた「情報システム工学科」として新たにスタートします。

学部、学科の名称は変わりましたが、1年生で幅広く理工学の基礎を学び、2年進級時に学科に所属してさらに専門分野を深く学ぶという教育の基本は変わっておりません。

また、高校新課程とのよりスムーズな接続を目指して共通基盤カリキュラムの改訂も図りました。今年度から新たに学習や生活に関する相談コーナーを常設するなど、高校での履修科目の多様化に対しても安心して学生が学べる環境を整備しました。

本学は教育に強い大学として実績を積んでいますが、今後も学生一人ひとりに対してeポートフォリオ(あらゆる履歴を「個人カルテ」として蓄積する学生総合カルテ)をベースに、熱意あふれる教職員が個々の学生の学習面や学生生活に対して最善の支援を行い、社会で活躍できる人材の輩出を目指してまいりますので、変わらぬご指導、ご支援をお願い申し上げます。



千歳科学技術大学 学長

川瀬 正明

平成28年4月情報システム工学科を新設します

先にも述べたように、来年度から「情報システム工学科」を新設し、本学が目指す理工学部の新体制が完成します。

現代の高度なシステムやサービスはその基本に情報技術が大きく寄与しています。卒業生の就職分野を見ても情報系企業への就職割合が着実に増加しています。

このような背景のもとで、グローバルシステムデザイン学科で目標とした、人間中心の技術開発の考えを引き継ぎ、情報通信、情報処理、情報活用の3分野を柱に教育を展開する「情報システム工学科」として、カリキュラムの全面見直しを行いました。

ネットワークの基本技術や誰もが違和感なく情報を活用できるためのサービス科学、実践的な情報技術の教育に加えて、少人数のチーム形式で目標達成に向けて問題解決を図るプロジェクト系科目により、社会で通用するチームワーク、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力等の涵養を図り、幅広い分野で総合的な視点を持った技術系リーダーとして活躍できる人材の育成を目指します。

新しい「情報システム工学科」の船出に大いに期待をいただき、従来に増してのご支援をお願い申し上げます。

平成28年4月以降の学部・学科等の概要

理工学部	応用化学生物学科	大学院	光科学研究科光科学専攻博士前期課程
	電子光工学科		博士後期課程
	情報システム工学科		

トピックス

平成27年度 入学式を挙りました

平成27年4月4日(土)、本学講堂において、平成27年度千歳科学技術大学・大学院入学式が挙られ、理工学部175名、大学院光科学研究科16名、計191名が新たな一歩を踏み出しました。

式は、ご多忙にも関わらず、多くのご来賓・ご父母のご臨席を賜りました。

式では、川瀬正明学長による式辞に続き、新入生を代表して理工学部1年生の成田弥矢さんによる宣誓が行われました。また、伊澤達夫理事長、山口幸太郎千歳市長からもそれぞれお祝いの言葉をいただきました。

入学式終了後は、引き続き保護者を対象とした保護者説明会を開催しました。川辺豊学部長による大学概要説明に続いて、大学教育センター、学生支援センター、キャリアセンターの各センター長より学習、学生生活、キャリア指導等に関する説明が行われました。



川瀬学長

プログラミング言語Javaの最新技術を学ぶセミナーを開催しました

平成27年6月3日(水)、プログラミング言語「Java」をテーマとした「Javaセミナーin千歳」を本学にて開催しました。講師には日本オラクル株式会社のシニアJavaエバンジェリストである寺田佳央様をお招きし、今年で20周年を迎えるJavaのこれまでの歴史とこれからの動向、そして最新技術についてご講演をいただきました。学生向けミニセミナーには36名が、学生・一般向けセミナーには67名が参加し、Javaによるプログラミングや情報システム開発の奥深さに興味深く耳を傾けていました。

参加した学生からは、「大学でこういう最先端の技術であるJavaの知識を身につける機会があるので、もっとJavaを勉強したいという気持ちになりました」、「今学んでることで満足せず、もっともっと貪欲に新しい技術を吸収していかないと駄目だと感じた」といった声が聞かれました。

開催にあたり、お力添えをいただいた寺田佳央様、日本オラクル株式会社様にお礼を申し上げます。



講師の寺田佳央 様

本学大学院生が(財)慶応工学会給費奨学生に採用されました

本学大学院生の柳直樹さん(光科学研究科光科学専攻博士前期課程1年)が、平成27年度一般財団法人慶応工学会給費奨学生に採用され、7月29日(水)に給費奨学金授与と証書が授与されました。

この奨学金制度は全国の理工系大学院生から募集され、奨学生として採用されると年額36万円を1年間支給されます。

平成27年度 在学生対象特待生認定式を行いました

平成27年5月11日(月)、平成27年度在学生対象特待生認定式を行いました。在学生対象特待生制度は平成26年度に創設された制度で、学部3年生及び4年生の各学科の成績優秀者1名を特待生として認定し、授業料等の減免を行うものです。認定式では川瀬学長から認定通知書が手渡された後、激励の言葉が贈られました。

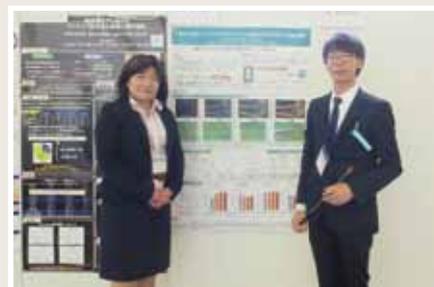
特待生の皆さん、今後も勉学に励んで充実した大学生活を送ってください。



川瀬学長と特待生の皆さん

本学大学院生が第35回日本骨形態計測学会若手研究者賞を受賞しました

本学大学院生の伊藤哲平さん(光科学研究科光科学専攻博士後期課程1年 指導教員:木村廣美 教授)が、第35回日本骨形態計測学会において若手研究者賞を受賞しました。昨年に続き2度目の受賞です。



木村教授(左)と伊藤さん(右)

演題:赤外二色性イメージによるコラーゲン繊維配向性の定性的・定量的検討
演者:伊藤 哲平1)、兼平裕也1)、佐々木了平2)、金沢恭祐1)、木村-須田 廣美3)

- 1)千歳科学技術大学大学院 光科学研究科
- 2)千歳科学技術大学 バイオ・マテリアル学科
- 3)千歳科学技術大学 応用化学生物学科



川瀬学長(左)と柳さん(右)

学生活動

本学YOSAKOIソーラン部が、セミファイナル審査優秀賞を受賞しました！

平成27年6月10日(水)～14日(日)の5日間にわたり開催された「第24回YOSAKOIソーラン祭り」に、旭川の「遊～すさび～」との合同チーム「遊～すさび～&光一天」として本学YOSAKOIソーラン部が出場しました。

皆さんの温かいご声援のもと、セミファイナル審査優秀賞を受賞することができました。今後も様々なイベントに参加し、演舞を披露してまいりますので、本学YOSAKOIソーラン部「光一天」をよろしくお祈りします。



花壇の花植えを行いました



平成27年5月30日(土)、菜園サークル、理工工房、エコサークルの学生団体と教職員が協力して、研究実験棟ロータリー内の花壇に花を植えました。当日は天候にも恵まれ、20人近くの参加者がそれぞれに爽やかな汗を流していました。

なお、当花壇は公益財団法人ちとせ環境と緑の財団が主催する「第28回(平成27年度)花いっぱいコンクール」に参加し、花壇部門中学校等の部「優秀賞」を受賞しました。

理工工房が千歳市の認定こども園で科学実験体験教室を行いました

千歳市立の認定こども園「つばさ」と「ひまわり」で、本学理工工房が科学実験体験教室を行いました。

「つばさ」には6月18日(木)・19日(金)の2日間、「ひまわり」には7月16日(木)・17日(金)の2日間にわたって理工工房の学生たちが訪問し、1日目には4歳クラス・5歳クラスの児童たちを対象に「空気のちから」をテーマとした科学実験教室と「ペットボトル空気砲の工作」を、2日目には3歳クラス・4歳クラス・5歳クラスの児童たちを対象に「色つきの影」「ブラックウォール」「空気砲」などの科学実験体験を行いました。

児童たちは、目の前でされる様々な実験に驚きの声を上げた

り、ペットボトル空気砲の的当てや色つきの影・ブラックウォール・空気砲などに夢中になるなど、楽しみながら科学を体験している様子でした。



第1回オープンキャンパスを開催しました



平成27年6月21日(日)、本年度第1回目のオープンキャンパスを開催しました。当日の朝は曇り空だったにもかかわらず、大勢の皆さんにご参加いただきました。

高校生の皆さんに、本学に入学するとどんなことが学べるのか、学生は普段勉強の他に何をしているのか、大学とはどんなところかなどを、正しく、楽しく知ってもらおうと様々なプログラムを用意しました。当日は学生が中心となってオープンキャンパスを盛り上げました。研究室紹介や模擬講義、学食体験や在学生とのフリートークなど、保護者の方々も含めた参加者からは「具体的に説明してもらえてわかりやすかった」や「学食がおいしかった」、「千歳市以外から通っている学生も沢山いるのを知って安心しました」などの感想をいただきました。参加の皆さんが帰る頃には、青空も見え始め、若干の名残惜しさを感じながら、本学マスコットキャラクターである「カーギー」に見送られて解散となりました。

年間4回を予定しているオープンキャンパスは毎回プログラム内容を変えて、何度来ても楽しめるものになるよう工夫しています。

LINE 始めました!!

本学では、受験生向けにLINEによる情報発信をスタートしました。受験情報やオープンキャンパス等のイベント情報、進学相談会情報などの最新情報を随時発信しています。

入試に関する情報のみならず、レアな情報も流れるかも…!?

ぜひチェックしてくださいね。



オープンキャンパス
今後の予定

9月27日(日)

11月1日(日)

入試に関するお問合せ 担当:入試課

TEL:0123(27)6011 FAX:0123(27)6076

E-mail:nyushi@photon.chitose.ac.jp



本学マスコットキャラクターである「カーギー」が「ゆるキャラグランプリ2015」にエントリー中!

オープンキャンパスで、おもてなしを担当する本学マスコットキャラクター「カーギーズ」のカーギーが、「ゆるキャラグランプリ2015」にエントリーしました。投票期間は8月17日(月)から11月16日(月)までとなります。皆さん、奮ってご投票をお願いします!

カーギーとは

オレンジのつなぎと、ゴーグルがチャームポイントのカーディガン・ウェルシュ・コーギーのオス。好奇心旺盛な中学1年生の男子、科技田ひかるの家に暮らす。ひかるとカーギーの一人と一匹で「カーギーズ」というユニットを組み、科学の疑問を探求すべく、毎回本学にやってくる。科学の知識に関しては、ひかるに教えてあげることも多い。

本学公式ツイッターで大学情報発信中!

@cistkoho 検索

連携事業

平成27年度第1回・第2回公開講座を開催しました

【第1回公開講座】

- 日時:平成27年6月6日(土)14:30~16:30
- 会場:北ガス文化ホール(千歳市民文化センター) 3階 視聴覚室
- 後援:千歳市教育委員会、特定非営利活動法人ホトニクスワールドコンソーシアム
- 演題:“PostPC”時代に生きる –情報化社会今昔物語–
- 講師:曾我 聡起(グローバルシステムデザイン学科 教授)

講演では、コンピュータの歴史を振り返りながら“PostPC”時代について説明を行い、次にディスプレイ等のアウトプット用インターフェイスやキーボード・マウスのようなインプット用インターフェイスが作成されるまでの歴史や最新のインターフェイスについて解説を行いました。

そして、PostPC時代に入り世界中で新たに生み出されているサービスおよびアプリケーションの例について紹介を行い、これからの高齢化・労働者人口が減少していく社会においてはITとアイデアで効率化を徹底するなど、新しい価値観に基づくサービス創生が必要であることや、それを支えるためにはプログラミング教育が重要であることを説明しました。



曾我教授

【第2回公開講座】

- 日時:平成27年7月19日(日)14:30~16:30
- 会場:北ガス文化ホール(千歳市民文化センター) 3階 視聴覚室
- 後援:千歳市教育委員会、特定非営利活動法人ホトニクスワールドコンソーシアム
- 演題:幼少期からの二ヶ国語会話がもたらすもの
- 講師:Randy L.Evans(グローバルシステムデザイン学科 講師)



Evans講師

講演では、子どもが言語を獲得していくステップについて解説を行い、移住や国際結婚など子どもがバイリンガルになりやすい様々なケースのメリット・デメリット、また言語を獲得していく過程について実例を挙げながらお話ししました。その後、子どもは環境に適応し言語を獲得していくが必要性を感じない言語は使わず忘れていってしまうことを、例を挙げ説明し、子どもがバイリンガルになるためにはどうしたら良いのか、またどのような問題が考えられるのかについて説明しました。講演の最後には、事例として講師の子どもがバイリンガルになっていった過程について当時の映像も紹介しながら説明を行いました。

平成27年度eカレッジ講習会を実施しました

平成27年6月21日(日)本学において、平成27年度eカレッジ講習会を開催しました。

eカレッジとは、千歳市教育委員会主催のもと本学が連携協力し、千歳市内の小中学生から希望者を募り、eラーニングシステムを学習に役立ててもらうことにより基礎学力向上を図る家庭学習支援事業です。

eラーニングシステムは、学校や家庭の他、インターネット環境があればいつでもどこでも学習することができるシステムであり、今回の講習会ではeラーニングシステムの基本的な使い方を説明しました。

今年の講習会には39名の小中学生が参加しました。本講習会は、初めてeラーニングシステムを利用される方にもスムーズに利用いただくために毎年開催しています。



講習会の様子

財務情報

貸借対照表 ※平成27年3月31日現在

資産の部 (単位:千円)

科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	9,531,118	9,623,206	△ 92,088
有形固定資産	5,839,413	5,950,638	△ 111,225
土地	2,995,016	2,995,016	0
建物	2,126,589	2,195,684	△ 69,095
その他の有形固定資産	717,808	759,938	△ 42,130
その他の固定資産	3,691,705	3,672,568	19,137
流動資産	1,341,923	1,324,144	17,779
現金預金	1,273,259	1,288,565	△ 15,306
その他の流動資産	68,664	35,579	33,085
合計	10,873,041	10,947,350	△ 74,309

負債の部 (単位:千円)

科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	75,779	106,188	△ 30,409
流動負債	302,501	276,593	25,908
合計	378,280	382,781	△ 4,501

基本金の部 (単位:千円)

科目	本年度末	前年度末	増減
第1号基本金	11,005,874	11,043,992	△ 38,118
第4号基本金	121,791	121,791	0
基本金の部合計	11,127,665	11,165,783	△ 38,118

消費収支差額の部 (単位:千円)

科目	本年度末	前年度末	増減
翌年度繰越消費支出超過額	△ 632,904	△ 601,214	△ 31,690

負債の部、基本金の部、消費収支差額の部の合計 (単位:千円)

科目	本年度末	前年度末	増減
合計	10,873,041	10,947,350	△ 74,309

消費収支計算書 平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

当該会計年度の学生納付金等の「帰属収入」から、当該会計年度における「基本金に組入れる額」を控除した消費収入と人件費・教育研究経費等の「消費支出」との均衡状況、内容により経営状況を明らかにするもの。

消費収入の部 (単位:千円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	1,074,590	1,074,272	318
手数料	9,813	12,242	△ 2,429
寄付金	8,000	41,981	△ 33,981
補助金	206,134	245,144	△ 39,010
国庫補助金	206,064	245,085	△ 39,021
地方公共団体補助金	70	59	11
資産運用収入	46,468	53,745	△ 7,277
資産売却差額	0	103	△ 103
事業収入	65,291	66,561	△ 1,270
雑収入	12,146	35,228	△ 23,082
帰属収入合計	1,422,442	1,529,276	△ 106,834
基本金組入額合計	△ 79,750	0	△ 79,750
消費収入の部合計	1,342,692	1,529,276	△ 186,584

消費支出の部 (単位:千円)

科目	予算	決算	差異
人件費	762,963	729,273	33,690
教育研究経費	696,939	638,731	58,208
(内減価償却費)	177,825	170,441	7,384
管理経費	230,422	224,268	6,154
(内減価償却費)	12,280	12,885	△ 605
資産処分差額	0	1,744	△ 1,744
予備費	(5,000)		
	0		0
徴収不能引当金繰入額	0	5,068	△ 5,068
消費支出の部合計	1,690,324	1,599,084	91,240

帰属収支差額比率	△ 18.8	△ 4.6	△ 14.3
当年度消費支出超過額	347,632	69,808	
前年度繰越消費収入超過額	0	0	
前年度繰越消費支出超過額	601,214	601,214	
基本金取崩額	0	38,118	
翌年度繰越消費支出超過額	948,846	632,904	
翌年度繰越消費収入超過額	0	0	

資金収支計算書 平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

当該会計年度における教育研究活動等諸活動に対応する全ての収入・支出の内容、及び当該会計年度における支払資金の収入・支出のてん末を明らかにするもの。

資金収入の部 (単位:千円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	1,074,590	1,074,272	318
手数料収入	9,813	12,242	△ 2,429
寄付金収入	8,000	13,113	△ 5,113
補助金収入	206,134	245,144	△ 39,010
国庫補助金収入	206,064	245,085	△ 39,021
地方公共団体補助金収入	70	59	11
資産運用収入	46,468	53,745	△ 7,277
資産売却収入	0	6,103	△ 6,103
事業収入	65,291	66,561	△ 1,270
雑収入	12,146	20,834	△ 8,688
前受金収入	178,529	161,890	16,639
その他の収入	319,020	924,865	△ 605,845
資金収入調整勘定	△ 145,608	△ 208,648	63,040
当期資金収入合計	1,774,383	2,370,121	△ 595,738
前年度繰越支払資金	1,288,565	1,288,565	
収入の部合計	3,062,948	3,658,686	△ 595,738

資金支出の部 (単位:千円)

科目	予算	決算	差異
人件費支出	746,765	731,576	15,189
教育研究経費支出	519,114	468,290	50,824
管理経費支出	218,142	211,324	6,818
施設関係支出	8,762	3,974	4,788
設備関係支出	69,323	37,697	31,626
資産運用支出	66,027	598,921	△ 532,894
その他の支出	363,505	396,754	△ 33,249
予備費	(6,920)		
	3,080		3,080
資金支出調整勘定	△ 93,932	△ 63,110	△ 30,822
当期資金支出合計	1,900,786	2,385,426	△ 484,640
次年度繰越支払資金	1,162,162	1,273,260	△ 111,098
支出の部合計	3,062,948	3,658,686	△ 595,738

KAGIDAIからのお知らせ

これからの行事予定

※平成27年7月31日現在

根岸先生(平成22年ノーベル賞受賞)と國武先生(平成26年文化勲章受章)が本学にて講演されます

■日程:9月30日(水)15時～ ■場所:本学本部棟



根岸英一先生
(Photo by Purdue University)



國武豊喜先生

根岸英一先生(Purdue大学特別教授)と國武豊喜先生(九州大学名誉教授)が本学主催のCIF(Chitose International Forum on Photonics Science & Technology)にて9月30日(水)15時から講演されます。無料でどなたでもご参加できますので、この機会に是非ともお越しいただければと思います。

詳細はCIFのホームページ(<https://www.chitose.ac.jp/CIF16/>)をご確認ください。

平成27年度千歳科学技術大学父母懇談会 開催

■日程:10月3日(土) ■場所:本学 本部棟
■時間:10:00～16:00(※9:30受付開始) ■対象:全学年の保護者

学習、就職支援などの本学における取り組みや状況について説明させていただくとともに、個別相談等を通じて本学への理解をいっそう深めていただくことを目的としています。午前は全体説明会や、学習について、午後からは学習・生活に関する個別相談、又は就職セミナー(就職支援会社による講演、内定学生による就活体験報告会、就職個別相談)のいずれかを選択してご参加いただきます。皆様のご出席をお待ちしております。

なお、父母の皆様には別途、ご案内文書を郵送いたします。

第17回稜輝祭 開催

お笑い芸人の「流れ星」、「花香よしあき」が本学にてライブを行います!

■日程:9月13日(日)15:30～16:30 ■場所:本学本部棟

お笑い芸人の「流れ星」、「花香よしあき」が第17回稜輝祭(大学祭)にてライブを行います!また、稜輝祭では本学YOSAKOIソーラン部による演舞や移動動物園など、小さいお子様も楽しめるイベントを多数企画しております。無料でどなたでもご参加できますので、ご家族・ご友人をお誘い合わせのうえ、是非ご来場ください。最新情報は稜輝祭のTwitter(@cistryoukaisai)をご確認ください。



花香よしあき



流れ星

新しい教職員からのメッセージ

平成27年度、本学に着任した教職員をご紹介します。

メディア教育センター 助手



砂原 悟

大学卒業後、最先端のネットワーク技術でサービスの開発、保守運用を行なっておりました。人知還流という建学精神のもと、貢献していきたいと思っております。

学生支援課 学生係



西尾 佳久

着任してから4ヶ月が経過しましたが、まだまだ学ぶべきことがたくさんあります。失敗することもあります。日々の業務を円滑に進めることができるよう努力して参りますので、宜しくお願い致します。

学生支援課 教務係



百井 利奈

ご縁があり、4月から教務係の一員として日々を過ごしています。まだまだ至らない点が多いと思いますが、仕事を通じ大学生生活のサポートが出来るよう精一杯努めて参ります。

キャリア支援課 キャリア支援係



小川 峻

4月の着任以来、キャリア支援課にて、4年生の就職支援を行っております。学生の皆様から見ると、一番身近な社会人でもありますので、良い手本になれるよう頑張ります。